

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会報ひまわり

第31号

令和6年度岩手県在宅保健活動者連絡協議会総会及び研修会



令和6年度岩手県在宅保健活動者連絡協議会総会及び研修会が令和6年5月21日に開催され、19名の会員が出席しました。

総会では「令和5年度事業報告」及び「令和6年度事業計画」が承認されたほか、任期満了に伴う役員改選が行われ、提案通り11名の幹事が選出されました。

その後開催された役員会において、会長は引き続き盛岡地区推薦の佐々木順子保健師さん、副会長は、継続で花巻地区推薦の内記敬子歯科衛生士さん、新任で県南地区推薦の小野寺ヨシ子保健師さんに決定しました。

また、研修会では参加者が3グループに分かれ意見交換会が行われたほか、岩手県保健福祉部健康国保課の健康予防担当小野特命課長からは今年度より開始となった「健康いわて21プラン（第3次）」に関する講演が行われ、協議会の充実に向けて学びを深める研修となりました。

会長あいさつ

岩手県在宅保健活動者連絡協議会

会長 佐々木 順子

会員の皆様におかれましては、ご多忙の中、多数ご参加をいただき感謝申し上げます。



今年は新年早々に能登半島地震が発生し、以後各地で地震が頻発しています。これらの災害に対する心構えとして、私たち会員それぞれが自分の地域で、自分の体力や健康状態に合わせて、何かしらの対応ができるように心構えをしておきたいと思っています。

さて、本日は、会員の皆様に今後の会の活動に自信と誇りを持っていただきたいと思い、在宅保健師等会の設立経緯についてお話しいたします。

昨年12月7日、8日に青森県で開催された東北地方在宅保健師等会連絡会議に岩手からは役員2名、全体では56名が参加しました。

会議の中で、在宅保健師等会の設立経緯について、平成10年頃より、国保中央会が新・国保3%推進運動の展開に合わせ、市町村支援のためのマンパワーとして、各県在宅保健師等の設置が促進されたとありました。また、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」には、「国保連合会は、診療報酬明細書等情報等を活用した医療費分析や保健事業に関する調査及び研究、保健事業の実施体制を強化するために、保険者に対し、在宅保健師等の派遣、専門的な技術又は知識を有する保健師等による保健事業従事者に対する研修の実施等、保険者が行う保健事業のPDCAサイクルに

係る取組等を支援する事業を行うこと」と明記されていることが紹介されました。

本県の在宅保健活動者連絡協議会は、平成16年の2月に設置されましたが、私自身、協議会の目的や動きがはっきり分からずもやもやしておりましたが、この設立経緯を知り、頭の中が整理されました。以前、「会をやめようと思う」と、地区の定例会議で話す会員にこの設立経緯を伝えたところ、辞めずに会員を続ける、となったこともありましたのでぜひ参考にして欲しいと思います。

この他、国の動きとしては令和6年度までにすべての市町村において、高齢者の保健事業を展開することを目指すとされています。ぜひ、会員の皆様自身が持っている豊富な知識と経験を発揮いただきたいと思います。

現職の方々が退職後も再任用等で働く等の働き方の変化もあり、新規会員の獲得が困難な状況が続いておりますが、本協議会は働きながらも参加が可能です。本協議会への参加のメリットである、会費が無料であること、自分のスキルアップのため無料で研修が受けられること、他地区の方々と情報交換ができることをぜひ周囲に伝えていただきたいと思います。新規会員募集は、事務局から各市町村に文書等で周知しますが、やはり生の声を届けることが一番効果的なようです。ぜひ今後退職する後輩や、知人等に私たちの生の声を伝えていただきたいと思います。

本日の総会では、令和5年度の事業報告、令和6年度事業計画の他、役員改選について審議を予定しています。また、研修会では職種ごとの意見交換、健康21プラン（第3次）に係

る講演を予定しています。

なお、令和5年度に発行した「会報ひまわり」には、皆さんから素晴らしい寄稿をいただきました。ぜひ読んでいただきたいと思います。

今後も、本協議会が自信を持って前に進んでいけるよう、皆様のご協力をお願いし、挨拶と致します。

事務局あいさつ

岩手県国民健康保険団体連合会

総務事業部長兼保健介護課長

宮田 和彦



本日はお忙しい中、県内各地からご出席いただき、感謝申し上げます。また、皆様方には日頃より本会の保健事業に対して多大なご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本協議会は昨年度20周年という節目の年を迎えたところですが、このような中、国は令和6年度から令和17年度までの12年を期間とする国民健康づくり計画「健康日本21（第3次）」を、岩手県においても今年度から令和17年度までの12年を期間とする「健康いわて21プラン（第3次）」を、また、市町村等においては、今年度から令和11年度までの6年を期間とする「第3期データヘルス計画」をそれぞれ策定しました。

本会としては、データヘルス計画の策定支援として23保険者に対し、また、高齢者の保健事業と、介護予防の一体的実施に係る支援として9市町村に対し、本会に設置している保健事業支援評価委員会による助言を行うなどの保

険者支援をしたところです。

会員の皆様方には今後の各地区、各地域における活動に対し、これまで培ってきた専門的なノウハウを十分に発揮していただくとともに、豊富な知識と経験のもと、引き続き、地域住民の健康づくりの支援や、市町村の保健事業の支援にお力添えをお願い致します。

本日の総会では、令和6年度の事業計画をはじめとする議案のご審議をよろしく申し上げます。

また、研修会では、県の健康国保課小野特命課長さんより、「健康いわて21プラン（第3次）から見える岩手県の健康課題」と題してご講演を行っていただく予定としています。

本日の総会、研修会を通して、皆様方がより効果的な事業展開をされるよう、また、実りあるものとなるよう祈念し開会にあたっての挨拶と致します。



国保イメージキャラクター
「ハピルスくん」



令和6年度総会

◆ 総会 ◆

議長に県南地区の小野寺壽子
さんを選出し、議案審議が行わ
れ、全て承認されました。



報告事項

報告第1号

「令和5年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業報告について」

<国保連合会保健事業への協力>

- ・岩手県国保連保健事業推進会議会長出席
(5/24、10/30)
- ・岩手県国民健康保険フォーラム(後援)
(8/31)

<市町村及び社会福祉協議会等の

保健事業への協力>

- ・新型コロナワクチン集団接種の支援
(問診業務等)：釜石市
- ・特定健康診査の問診業務等：
釜石市、軽米町、一戸町
- ・イベント参加者の救護活動：盛岡市、釜石市
- ・介護予防教室に係る講師派遣：
盛岡市、西和賀町

<岩手県事業への協力>

- ・地域づくりアドバイザーの派遣と協力
(4月～3月)
- ・令和5年度岩手県いい歯の日のつどい
in 大船渡(後援)(11/19)
- ・令和5年度岩手県介護予防市町村支援
推進会議 会長出席(2/7)

<会報「ひまわり」の発行>

- ・会報「ひまわり30号」発行(7/19)

<会議等への参加>

- ・東北地方在宅保健師等会連絡会議
役員2名出席(12/7～12/8)
- ・令和5年度都道府県在宅保健師等会
全国連絡会資料を役員へ提供(3月)

<その他協議会に係る保健・福祉活動等>

- ・「岩手県在宅保健活動者連絡協議会
会員募集案内」送付(12/27)

<地区ブロック活動>

○盛岡地区

- ・いこいの家：健康相談、血圧測定等(6回)
- ・市民体カテスト：血圧測定、救護活動(2回)
- ・元気アップ体操教室：血圧測定、講話、
いきいき百歳体操等(13回)
- ・国保連職員健診事後指導
- ・はつらつ健康セミナー：健康チェック、
いきいき百歳体操、講話(3か所)

- ・ボランティアまつり(活動紹介)
- ・定例会(6回)

○花巻地区

- ・サロン：口腔体操の実施(月1回)
- ・シルバーリハビリ体操指導者の会に口腔体
操のパンフレットを作成・提供
- ・サロン：健康相談会、お茶会(月1回：2か所)
- ・体操会：元気でまっせ体操等
(月2回：2か所、毎週：1か所)
- ・花巻とうゆう会支援(2回)
- ・施設での口腔指導
- ・情報交換会(3回)

○久慈地区

- ・定期オレンジカフェ：健康相談、
健康チェック、押し花等（10回）
- ・出前保健室：健康チェック等（4回）
- ・イベント救護（3回）

○二戸地区

- ・一戸町、軽米町の特定健診実施の支援：
問診等（延べ16日）
- ・軽米町コロナワクチン接種：
問診、経過観察（延べ4日）
- ・情報交換会（1回）

○沿岸地区

- ・釜石市、コロナワクチン接種：問診、観察
- ・釜石市、特定健診・がん検診：問診業務等
- ・イベント救護

○県南地区

- ・サロン：認知症予防、コロナ予防
（3か所、29回）
- ・百歳体操：フレイル予防、認知症予防
（3か所、73回）
- ・ホームヨガ：ヨガで健康づくり
（2か所、84回）
- ・重度障害者団体支援（2回）
- ・交流会7回、通信発行6回



議決事項

議案第1号

「令和6年度岩手県在宅保健活動者
連絡協議会事業計画について」

令和6年度事業計画

I 基本方針

市町村における保健・福祉活動の重要性を認識し、住民の健康づくりを支援するため、豊富な知識と経験を活かし、地域の保健・福祉活動に寄与するとともに、会員の資質向上と親睦を図るため下記の事項を推進する。

II 目標

1. 高齢者の健康づくりについて、介護予防の面から支援する。
2. 地域の食育活動をとおり、若い世代からのメタボリックシンドローム等の対策につなげる。
3. 保健推進委員や食生活改善推進員等の住民組織活動を協力・支援し、地域保健活動のさらなる活性化につなげる。

III 具体的実施事項

1. 役員会等の開催
 - ・役員会 年3回（5月、11月、3月）
2. 総会の開催
 - ・総会の開催 年1回（5月）
3. 研修会の開催
 - ・研修会の開催 年1回（総会時）
4. 国保連合会保健事業への協力
 - ・岩手県脳卒中予防県民大会への協力

- ・岩手県国保連保健事業推進会議への参画
- ・岩手県国民健康保険フェアラムへの後援
- 5. 市町村及び社会福祉協議会等の保健事業への協力
- 6. 岩手県事業への協力
 - ・地域づくりによる介護予防推進支援事業に係るアドバイザー推薦及び事業協力
 - ・岩手県介護予防市町村支援委員会への参画
- 7. 会報「ひまわり」の発行
 - ・年1回の発行（7月）
- 8. 会議・研修等への参加
 - ・東北地方在宅保健師等会連絡協議会
 - ・都道府県在宅保健師等会連絡会
- 9. 会員相互の情報交換
 - ・地区ブロック単位の電話連絡網の活用
- 10. その他、協議会が係わる保健福祉活動等
 - ・新会員加入促進に向けた取組み

議案第2号

「役員改選について」

（任期：令和8年度総会まで）

地区名	氏名（職名）
盛岡地区	佐々木 順子（保健師）
	佐々木 みや子（保健師）
	村井 廣子（看護師）
花巻地区	内記 敬子（歯科衛生士）
	狩野 和子（管理栄養士）
久慈地区	藤原 みよ子（保健師）
二戸地区	中里 早苗（保健師）
沿岸地区	植田 幸子（保健師）
	吉川 晴美（看護師）
県南地区	小野寺 ヨシ子（保健師）
	小野寺 壽子（准看護師）

その他：報告

「令和5年度地域づくり

アドバイザー事業について」

本協議会が、平成29年から岩手県事業の協力として行っている「地域づくりアドバイザー事業」について、花巻地区地域づくりアドバイザーの高橋喜久子管理栄養士より、令和5年度の活動内容を報告いただきました。



新役員のみなさん



左から 新副会長の小野寺ヨシ子さん、会長の佐々木順子さん、副会長の内記敬子さん

総会終了後に開催された役員会で新会長、副会長が決定しました。

会 長 佐々木 順子

副会長 小野寺 ヨシ子

内記 敬子

2年間、よろしくお願いいたします。



地区活動の充実にむけて

◆ 意見交換会 ◆

職種別に3グループに分かれて「職種を生かした今後の活動」をテーマにディスカッションを実施しました。

全体報告では、各地区が行っている地域のサロン活動や健診、イベント救護等の活動を通して地域や介護施設から新たな支援の依頼もあり、少しずつ活動の輪が広がっていると感じていることや、活動の際には単独の職種での活動は難しいことから、様々な職種がチームで関わるともっと効果的な支援ができるのではないかと意見が出されました。また、今後、市町村との繋がりを持つことで協議会の活動の場も広がっていくのではないかと意見も出されました。

< 会員の声 ~総会・研修会アンケートから~ >

- ・自分の地区以外の方と話すことが新鮮だった。意見交換の機会を利用して活動をより良いものにしていきたい。
- ・出席者が減少しており残念。



講演中の様子

脳卒中死亡率全国との格差縮小を目指して

◆ 講演 ◆

「健康いわて21プラン（第3次）

から見える岩手県の健康課題」

講師：岩手県保健福祉部
健康国保課健康予防担当
特命課長 小野 償子 氏



今年度開始した「健康いわて21プラン（第3次）」は、「県民一人一人が主体的に健康づくりに取り組むための行動指針である」と説明し、より多くの県民にこのプランを知って欲しいと話されました。また、岩手県の現状や課題についてデータを用いて説明し、健康寿命の延伸、脳卒中死亡率の全国との格差縮小等の目指す姿と、具体的取り組みについて説明されました。具体的取り組みの中での今年度の目玉事業として、働き盛り世代からの健康支援として、野菜摂取量が見える健康機材「ベジメータ」を購入・活用していく準備を進めていることを話されました。

< 会員の声 ~総会・研修会アンケートから~ >

- ・大変わかりやすく勉強になりました。21プランにもとづいて、岩手が益々健康になって欲しいです。県の担当課も頑張っているんだなと感じました。
- ・県全体の健康課題の確認ができた。今後の活動に活かし、機会があれば内容のPRをしていきたい。



令和6年度地区活動予定

<盛岡地区>

- ・盛岡市：市民体カテスト支援
(参加者の血圧測定等)
- ・青山和敬荘地域包括支援センター：
盛岡市一般介護予防事業対象者
介護予防教室支援

<花巻地区>

- ・西和賀町：一般介護予防事業
(歯科衛生士による講話及び実技指導)

<久慈地区>

- ・定期オレンジカフェ 毎月1回
(健康相談ほか)
- ・出前オレンジカフェ 年3か所位
(健康相談ほか)
- ・大会等救護活動
- ・各種委員 年1~2回会議出席
(健康づくり推進委員、
包括支援センター運営委員)
- ・情報交換等打合せ会 年3回程度

<二戸地区>

- ・軽米町：特定健診、がん検診
(受付、問診票確認、誘導等)

<沿岸地区>

- ・釜石市：イベント開催に伴う救護
- ・釜石市：特定健康診査等の問診業務
- ・その他市町村の保健事業への協力

<県南地区>

- ・4月 総会&お花見会
- ・6月 創作活動 リメイクで腕抜き作成
- ・8月 RFL 準備
- ・9月 RFL 参加
- ・10月 紅葉狩り
- ・12月 料理教室
- ・2月 近況報告(反省・計画)

在宅保健活動者連絡協議会
総会及び研修会
オフショット



皆さん楽し
そうです

令和5年度東北地方在宅保健師等会連絡会議

令和5年12月7日、8日に、4年ぶりに青森県において参集開催され、東北各県より在宅保健活動者が約60名参加しました。

<1日目>

○講演「自殺対策のこれからーコロナ禍で

深まった生きづらさを踏まえてー」

公立大学法人青森県立保健大学

健康科学部看護学科健康科学研究科

教授 反町 吉秀 氏

○講演「国保保健事業を取り巻く動き」

国民健康保険中央会 保健事業課課長代理

(保健師) 山口 道子 氏

○報告「都道府県在宅保健師等会

全国連絡会役員会報告について」

都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員

福島県在宅保健師の会「絆」

会長 丹野 由美子 氏

<2日目>

○活動報告「会の活動の概要について」

青森県在宅保健師の会

会長 新井山 洋子 氏

○地域の保健・福祉活動「ほっこり会」

青森県在宅保健師の会会員

能登 富枝 氏

○グループ別情報交換

参加者が7グループに分かれ、各県での活動や1日目に行われた自殺対策に係る講演の感想について情報交換が行われました。

<参加者の感想>

・自殺対策や国の動き、青森県の活動内容等、盛りだくさんの研修でした。各県の会員が工夫しながら活動している様子を直接伺うことが出来て元気をもらいました。やはり直接会って情報交換するのは大事ですね。

(会長 佐々木 順子)

・現場の保健師等専門職を応援したいという気持ちはみんな一緒だと感じました。また、各県共通の課題として「新規会員が増えない」ことが挙げられ、課題解決に向けた、今後の活動のヒントを得ることも出来ました。情報交換会では青森県会員の素晴らしいスコップ三味線披露のおもてなしを受け、充実した2日間でした。(幹事 小野寺 ヨシ子)



令和5年度都道府県在宅保健師等会連絡

今年度は、DVDの配布に加えてYouTubeによる動画配信により、令和5年度都道府県在宅保健師等会連絡会が行われました。

○講演

地域保健施策を取り巻く国の動向について
厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室
室長 五十嵐 久美子 氏

○事例発表1

『青森県在宅保健師の会』の活動の概要について
青森県在宅保健師の会
会長 新井山 洋子 氏

○事例発表2

南部町小波田地区『ほっこり会』サロン活動
青森県在宅保健師の会
会員 能登 富枝 氏、東山 恵子 氏

○事例発表3

石川県在宅保健活動者連絡協議会『虹の会』の活動について
～専門職能を活かして住民の健康づくりを支援する～
石川県在宅保健活動者連絡協議会
会長 川坂 君江 氏

<聴講した会員の感想>

- ・青森県の活動報告から、行政とのつながりが濃く活動しやすいだろうと感じた。また、サロン活動は参加しやすい雰囲気作りが参加者の健康に繋がっていると感じた。自分たちの活動の参考にしたい。
- ・石川県の活動報告から、会員が高齢化していく中で、今後どのような対応ができるのか模索していきたい。

地区活動紹介

本協議会は、県内を以下の6つの地区に分かれて活動しています。会員は主に居住市町村の地区に所属し、地域の身近な専門職として、地域の保健活動支援や、自主活動を行っています。

今号では、「盛岡地区」と「県南地区」の活動を紹介します。

地区名	該当市町村
盛岡	盛岡市・八幡平市・滝沢市・ 雫石町・葛巻町・岩手町・ 紫波町・矢巾町
花巻	花巻市・北上市・遠野市・ 西和賀町
久慈	宮古市・久慈市・岩泉町・ 田野畑村・普代村・洋野町・ 野田村
二戸	二戸市・軽米町・九戸村・ 一戸町
沿岸	大船渡市・陸前高田市・ 釜石市・住田町・大槌町・ 山田町
県南	奥州市・一関市・ 金ケ崎町・平泉町



佐々木 みや子

○盛岡地区

盛岡地区の活動は、助成金を使った自主活動と地域包括支援センター依頼による「介護予防教室」が中心となっており、各職種の力量も発揮できる場となっています。また、盛岡市社協のボランティア登録により、今年度から地区民生児童委員連絡協議会主催の子育てサロンの講師としての保健師、栄養士の派遣依頼もあり今後も継続が期待されます。

主な二つの活動を紹介します。

1. 自主活動「元気アップ体操教室」(令和元年、2年、5年度実施)

令和元年度からいきいき岩手支援財団のご近所支え合い活動助成金を活用した介護予防事業として月2回程度、午前、1時間程度の教室を開催してきました。

会場は、前潟イオンより地域貢献事業であるとして無料で借用させていただきました。

<活動の効果>

盛岡市や周辺市町村からの参加者が集まり、いきいき百歳体操等介護予防の周知に役立ち、また、徐々に友人同士での参加が増え、教室終了後、買い物や昼食等を共に楽しむ等、高齢者の外出意欲に役立っていました。



令和元年度元気アップ体操

<助成金の活用>

初年度の申請や報告時の書類づくりに時間がかかりますが、1年間で10万円程度の助成金が使え、スタッフの交通費やボランティア保険加入の他に、救急箱や血圧計、体力測定器やダンベル等の保健事業に役立つ備品購入にも役立ちました。今年度は、新たに「閉じこもり高齢者の支援事業」として、助成金を申請してみたところです。



令和5年度元気アップ体操教室

2. 青山和敬荘地域包括支援センター依頼による介護予防教室支援(令和2年～現在)

令和元年度の前潟イオンでの介護予防教室の開催や助成金関係の会議等で当センターとの関係づくりに役立ち、令和2年度から当センター主催の介護予防教室の講師依頼が始まりました。年2～3地区での教室(1地区3回)を支援し、今年度も2カ所を支援予定となっています。

教室の内容は、当センター保健師との打ち合わせで決めることが多く、各職種が関わることが出来るよう検討します。

最後に、現在は、市町村からの依頼が少なく、また、依頼があっても一部の職種に偏ってしまう傾向があることから、上記の教室全体の運営にかかわる活動は、多職種の会には適していると感じます。また、1度に数名のスタッフが関わることで、仲間意識を深め、スタッフ自身のフレイル対策、健康づくりにも役立てることが出来ます。今後も、スタッフが無理なく、楽しく活動できるよう工夫していきたいと思っています。

○県南地区

小野寺 ヨシ子



会員同志で講師を務め勉強会



先輩たちと昼食会（90歳以上の方も参加）



サロン支援活動

大畑サロン (HO)



皆でおしゃべりに
花咲かせます

友遊
サロン (YF)



認知症の勉強会を実施



佐野原ニコニコサロン (YO)

すごろく「東海道五十三次」
サイコロを転がし、「わあー
きゃー」言いながら楽しみました



ボランティア活動



支援学校の子供達と
触れ合う中で言葉を
話せなくても通じ合う
気持ちに心打たれボラ
ンティアで楽しませて
いただいています。(EK)



RFL（がん患者
支援活動）で
募金活動を行
いました。(全員)

社会貢献活動

会員6人で午後の部
夜の部と実施しています。
和やかに、しなやかに楽
しみながら実施しています。



ホームヨーガ

百歳体操支援活動

高梨クラブ (SO)



休むと身体がなまるね。
皆との語らいこれがまた楽しいね。



真滝 15 区百歳体操体験会 (EA)



会員それぞれが自分で
できる範囲の活動に参加
して「自分が楽しむ」を
モットーに活動しており
ます。
定例会は偶数月の最後の
土曜日です。



春から初夏かと思う日もありいっその体調管理の必要な年齢です。久しぶりに皆様とお会いして若さや元気と大事な情報をいただきに出席です!! Y・S

今年も、ベランダから見える小学校の門燈に照らされた夜桜が満開、幻想的。毎年この風景を見ると、次男が小学1年生の時、「桜の下にごさを敷いてお友達とお菓子を食べながら楽しそうにしてみましたよ」と先生から聞き、共働きで遅く帰る自分が涙した事を思い出してしまいます。Y・S

ヘルパーさんの時間外の対応サポートとして、ゴミ出しの手伝いをしています。E・K

同僚に助けられてなんとか息をついてます。F・S

令和5年度から在宅保健活動者連絡協議会に加入いたしました。よろしくお願ひします。保健師としての活動経験を生かしたいと思っていましたが、かなりスキルアップが必要なようです。協議会の研修等期待しております。Y・A

今年度から会計年度職員として、月に8日、1日3時間程度働かせていただいているが、仕事というよりは自分が楽しみながら市民の方々と交流させていただき、自分の認知症予防になっている事を痛感させられている。今年度は会員の増やし方を課題にして活動したいと思っている。Y・O

無理のない範囲で活動に参加出来たらと思っております。体調不良になると、健康のありがたさを実感しているこのごろです。健康に優る富はなしで、年を重ねることに感じております。応援団でもあります!! Y・I

地区活動や研修会等になかなか参加できずに心苦しく思っています。現在、両親の介護中心の生活をしています。その中でも畑仕事や読書など楽しんでいます。最近、社会とのつながりをもつことの大切さを痛感しています。また活動に参加できるようになることを楽しみにしています。Y・M

後期高齢者1年生です。突然の膝痛に難儀しています。その原因が体重と聞くと少し悲しくなりますね。歩く習慣(クセ)と座る習慣と生活の習慣を見直せば良いと助言を受けました。膝痛も悪しき生活習慣によって生じたものと考え、地域で行っている「百歳体操の体験会」を利用し、その改善に取り組んでいる最中です。E・A

お知らせ

新会員募集中！

～一緒に学び、活動してみませんか？～

「岩手県在宅保健活動者連絡協議会」は、専門職としての豊かな経験を生かし、市町村をはじめとする地域の健康づくりに取り組んでいます。

保健事業支援に必要な研修や情報提供、会員相互の交流をはかりながら楽しい活動を目指しています。

<入会の要件>

- ・県内で活動できる保健師・看護師（准看護師）・管理栄養士（栄養士）・歯科衛生士・助産師の資格を有する方

※臨時・嘱託で勤務されている方も入会できます

◆◆◆お問合せ、入会につきましては、事務局までご連絡ください。◆◆◆



会員登録状況

(令和6年6月末時点)

会員 85名



令和5年度には7名が新加入しました！

保健師	37名
看護師・准看護師	27名
管理栄養士・栄養士	9名
歯科衛生士	10名
助産師	2名

担当 岩手県国民健康保険団体連合会 総務事業部 保健介護課 保健係

住所 岩手県盛岡市大沢川原3丁目7番30号

TEL 019-623-4324

FAX 019-622-1668